

第2章 人口と世帯

1 人口及び1世帯当たり人員の推移（表1、図1） 【統計編

1－第1表】

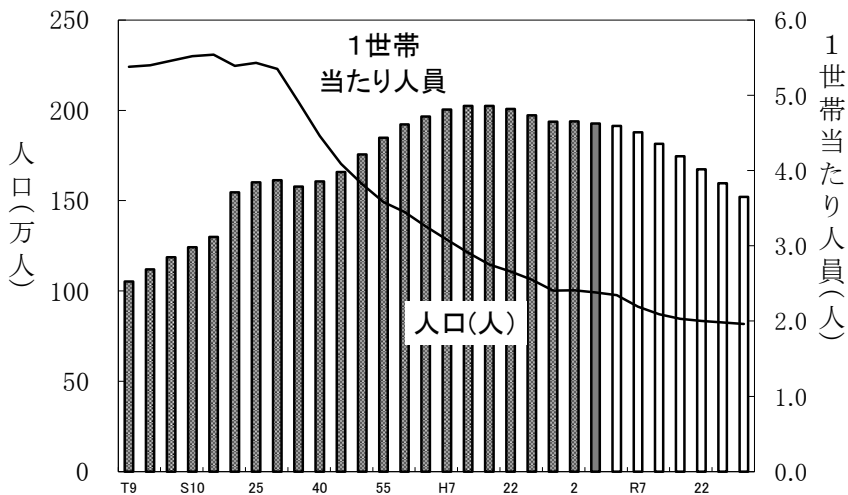
令和4年10月1日現在の総人口は1,913,236人であった。
平成17年以降は減少傾向にあり、令和32年には1,520,630人になると推計されている。

1世帯当たり人員は、核家族化の進行とともに急激に減少し、令和4年は2.34人となった。令和32年には1.96人まで減少すると推計されている。

表1 人口・1世帯当たり人員の推移

	人口(人) 各年10月1日	1世帯 当たり 人員
大正9	1,052,610	5.38
14	1,118,858	5.40
昭和10	1,242,453	5.52
20	1,546,081	5.39
30	1,613,549	5.35
40	1,605,584	4.46
50	1,756,480	3.82
60	1,921,259	3.45
平成7	2,003,540	3.08
17	2,024,135	2.75
27	1,973,115	2.55
30	1,949,440	2.44
令和元	1,937,626	2.40
2	1,939,110	2.41
3	1,926,325	2.38
4	1,913,236	2.34
7	1,877,873	2.19
12	1,814,568	2.09
17	1,746,216	2.03
22	1,672,913	2.00
27	1,596,824	1.98
32	1,520,630	1.96

図1 人口・1世帯当たり人員の推移



【出典】平成27年以前及び令和2年：国勢調査
令和7年以降：日本の地域別将来推計人口、日本の世帯数の将来推計
（国立社会保障・人口問題研究所）
その他：群馬県移動人口調査

2 年齢別人口割合の推移（表2、図2） 【統計編 1－第2表、第3表】

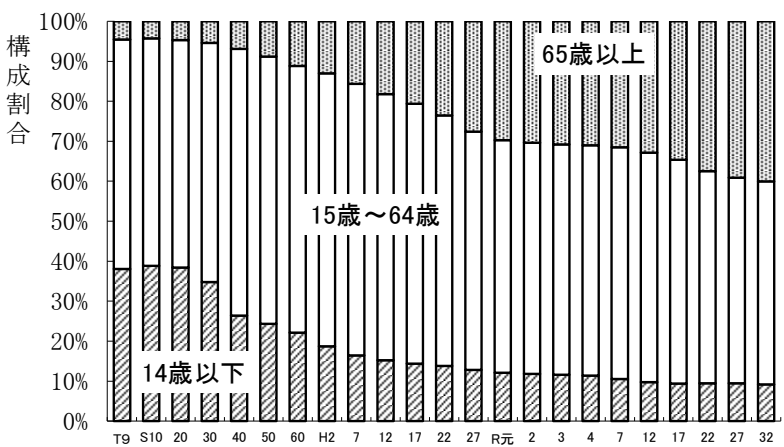
令和4年の14歳以下人口割合は11.4%、65歳以上人口割合は31.0%で、65歳以上の人口割合は年々増加している。

将来推計人口では、令和32年には65歳以上人口割合は4割に達し、14歳以下人口の4倍近くなると推計されている。

表2 年齢別人口割合の推移

	群馬県		全国	
	14歳 以下	65歳 以上	14歳 以下	65歳 以上
大正9	38.1	4.6	36.5	5.3
昭和10	38.9	4.3	36.9	4.7
20	38.4	4.7	36.8	5.1
30	34.8	5.4	33.4	5.3
40	26.4	6.9	25.6	6.3
50	24.3	8.8	24.3	7.9
60	22.1	11.2	21.5	10.3
平成7	16.5	15.6	16.0	14.6
17	14.4	20.6	13.7	20.1
27	12.8	27.6	12.6	26.6
30	12.2	29.4	12.2	28.1
令和元	12.0	29.8	12.1	28.4
2	11.8	30.4	12.1	28.7
3	11.6	30.8	11.8	28.9
4	11.4	31.0	11.6	29.0
7	10.5	31.5	11.1	29.6
12	9.7	32.9	10.3	30.8
17	9.4	34.7	10.0	32.3
22	9.5	37.5	10.1	34.8
27	9.5	39.1	10.1	36.3
32	9.2	40.0	9.9	37.1

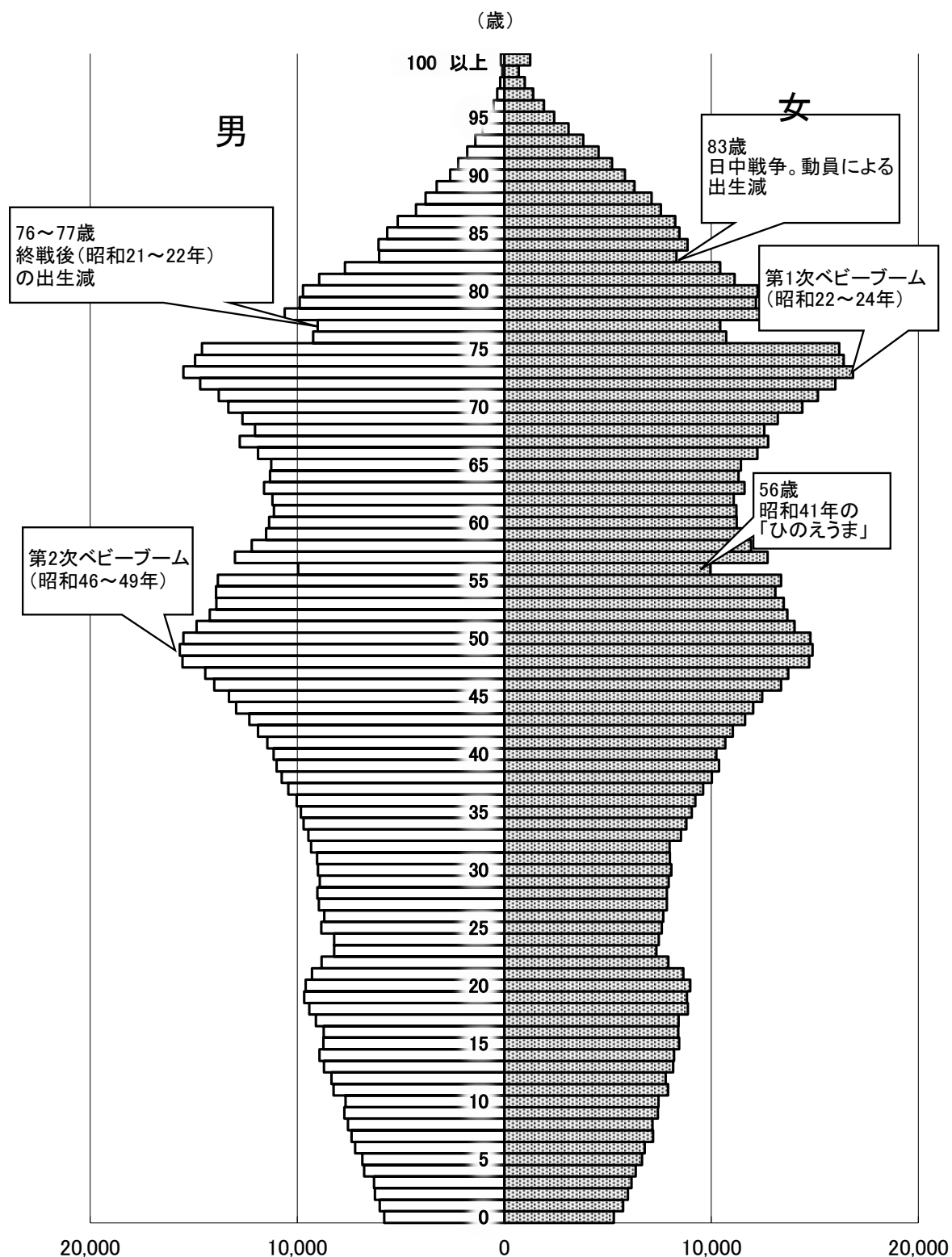
図2 年齢別人口割合の推移（群馬県）



【出典】平成27年以前及び令和2年：国勢調査
その他：群馬県年齢別人口調査、人口推計（総務省）
令和7年以降：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

3 人口ピラミッド (図3)

図3 人口ピラミッド (令和4年10月1日現在)



【出典】群馬県年齢別人口調査
(注) 年齢不詳(総数41,846人、男23,680人、女18,166人)は含まない。